

もくじ

- びじょ やじゅう
美女と野獣

びじょ やじゅう
美女と野獣

げんさく 原作： せかい むかしばなし
世界の昔話

イラスト： イシイ アケミ

へんしゅう 編集： YellowBirdProject

3

むかしむかし、とある村^{むら}に、金持ち^{かねもち}の商人^{しょうにん}がいました。その商人^{しょうにん}には、『ベル』という、美しい娘^{むすめ}がいました。

ある日商人^{ひしょうにん}は、大きな仕事^{おおしごと}をするために、少し遠く^{すことお}の町^{まち}へ出かけることになりました。

「さあベルや、お土産^{みやげ}になにを^か買ってこようか」

「私^{わたし}は、なにもいりません」

「そんなこと^い言わないで^ほおくれよ。なにが欲しいか^い言^いってごらん」

「では、えっと・・・バラの花^{はな}がいいわ。バラの花^{はな}を一輪^{いちりん}買^かってきてください」

ベルは、やさしく微笑^{ほほえ}みながら^い言^いいました。



さて、この商人しょうにんですが、今回の仕事こんかい しごとで大きな失敗おお しっばいをしてしまい、仕事しごとに持っていったお金かねを、すべて失うしなってしまったのです。

商人しょうにんはもう、帰りの馬車かえ ばしやを用意するお金ようい かねもなく、一人ひとりとぼとぼと、家への長い道いえ なが みちのりを歩あるいていました。

やがて商人しょうにんは、深い森ふか もりの中で、道みちに迷まよってしまいました。

「おかしいな。この道みちは、さっきも通とおったはずだ・・・」

商人しょうにんは、疲れつかと空腹くうぶくに耐えきれず、近くちかにあった切り株き かぶに腰こしを下おろしました。

「はあ・・・私わたしはここで死しんでしまうのかもしれないな。ベルよ、すまん・・・」

しかし、その時ときです。

